

# SWANS/HSC-theory

新規参入、歓迎！

- AGN/galaxy進化の多階層理論モデル
- 各階層で最先端の結果を相互に結合させる
- Feedbackの効果をいれるのが課題

高精度宇宙論的N体計算(石山、矢作)  $N \sim 1600^3$

高精度銀河形成、合体計算+ BH (斎藤、松井)

AGN進化モデル(川勝)

高精度torus + SF計算(和田)

SAM (長島、榎)

多次元輻射流体accretion disk(大須賀、須佐)

星団、BH@銀河中心の進化(藤井@牧野研)

SWANS/HSC

Ultra high-z: QSOの存在、  
Middle-z: LBG, low luminosity quasarの空間分布  
とその時間進化, LF

# Action Items for ぼっちゃん・マドンナモデル

- 榎モデルの改良(榎、長島、川勝、大須賀...)
  - Input: パラメータ, 物理の洗い出しと再検討
    - (Major) merger時にBH, Bulgeがどれだけ成長するか
    - Feedback? Radio mode/QSO mode
  - Output: BH mass func., luminosity func., correlation func., bias, SED, 重力波, 他には？
- 川勝モデルの改良(川勝)
  - Input: ASURAによる銀河中心領域へのガス供給率計算, 星団形成率(齋藤、松井)
  - Output: 榎モデルに何を渡すか？
- 大須賀モデルの改良(大須賀)
  - Input: 川勝モデルのMdot(in)
  - Output: 榎モデル, 川勝モデルに何を渡すか？
- 期限: SWANS/HSCと比較できるoutputを出す ⇒ 2010年夏？
  - 年内に理論班合宿@どこかの温泉が必要？